

# 精華園だより

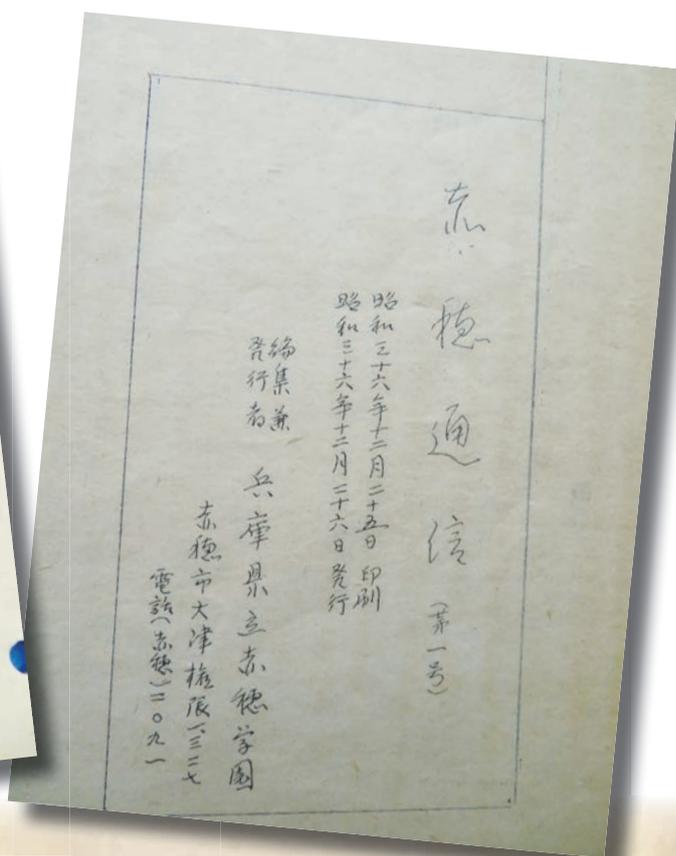
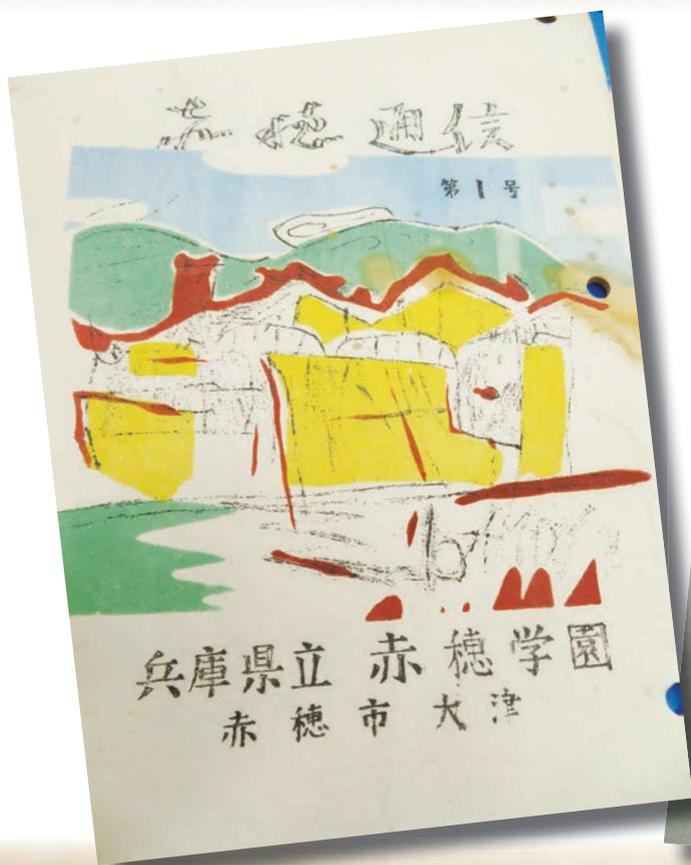
支える心と思いやり

AKOUSEIKAEN NEWS

令和2 (2020) 年

vol.100

3月発行



いあい

赤穂精華園長 深谷 利之



昭和53年(1978年)11月に第1号が復刊された「精華園だより」は、3月号で第100号を迎えました。これまでの発行にご協力いただいた皆様、ご愛読いただいている皆様に、心から感謝申し上げます。

また、「園だより」には、復刊される以前の当園が開設された昭和36年(1961年)から、昭和48年(1973年)の12年間にもその歴史があります。5年間の休刊時期はありましたが、赤穂精華園が、地域や関係機関の皆様にも長年支えられ、今年で58年を迎えているという記録にもなっているのです。これからも利用者様のたくさん笑顔をお伝えできるように、第200号を目指して頑張ります。

さて、令和2年(2020年)の干支「庚子(かのえね)」は、変化の多い年であり、新たなスタートには大きなチャンスがあると言われていきます。冷静な判断が大きな成功のカギのようです。当園も事業の再編等、変革の年です。様々な課題にしっかりと向き合い、メンバーや組織と冷静な判断で見極めながら変化に対応し、今後の歴史を「精華園だより」に刻んでいきたいと考えています。

最後に私事ではありますが、私は「精華園だより」第1号が復刊された昭和53年(1978年)に事業団に採用され、第100号の今年に定年退職を迎えます。そしてこれからの新たな人生のスタートに小さなチャンスが訪れたときには、冷静な判断でそのチャンスを掴みたいと思っています。

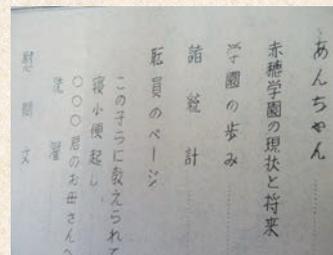
# の変遷

## ～1961

はじまりは、昭和36年12月26日発行

赤穂通信 発行者は 兵庫県立赤穂学園

第1号は手書きでした。



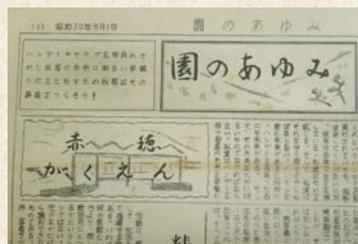
昭和39年5月25日 学園だより 第1号

タイトルの変更



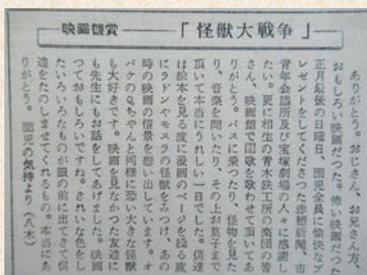
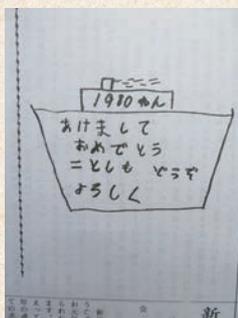
昭和39年8月1日 園のあゆみ 第1号

タイトルの変更



昭和48年 第29号を最後に休刊

精華園だよりの復刊 昭和53年11月 精華園だより 第1号



### 楽しい思い出

成人支援第一課 利用者様

「園だよりって知ってる？」と利用者様に尋ねました。開口一番「知らん！」普段から昔の事をいろいろ話してくださる方ですが、園だよりの事はご存じありませんでした。これは手ごわい。質問を変え「いつから精華園にいるのですか？」と尋ねると「何年前か覚えてはいないけど、ここが出来た時からおるよ。」と。その時の事を尋ねたのですが、覚えていらっしゃらないようでした。ただ児童寮とグラウンドの位置が今は逆だったこと。いろんなところに泊まりで行き、とても楽しかったことなどを知らない支援員の名前を沢山交えながら話してくださいました。この先も利用者様が楽しかった思い出を沢山話せるように、その中に自分の名前も出てくればうれしいなと思いながら聞かせていただきました。

### 赤穂精華園変遷の一端

保護者会長 前田 芳則

赤穂精華園のような知的障害者施設は世間から迷惑施設として敬遠されていた時代でした。赤穂においても、歓迎されることなく、人里離れた未開拓地に木を切り、森を切り開いて開発された所で開園されたことを思えば、関係者諸先輩方には本当に感謝です。建物は児童寮からスタートし、度々増改築を重ねて現在に至り、今では地域の皆さんにも受け入れられています。児童寮から始まった改築工事、残す成人寮も近い将来必ず出来るものと期待しています。

精華園だよりも施設の開園と同じ年に初刊され、今日に至っています。機関誌の内容については定かではありませんが、現在版と比較しながら見たいですね。興味があります。

# 2020~

# 園だより

平成28年 第92号  
オールカラーで発行



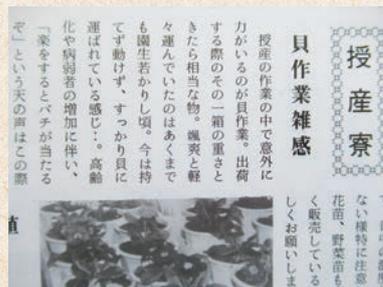
平成12年 第64号  
表紙がカラー印刷



平成の時代の始まり  
第38号



昭和の時代最終号  
第37号



## 園だよりにまつわるエピソード

### 心に残る一泊旅行

支援員 山根 幸造

国鉄の時代に、成人寮一般棟（現あゆみ棟）と、いづみ棟合同（利用者・職員併せて130名程度）で、電車を貸し切って滋賀と京都に一泊旅行に行ったことがあります。貸し切り電車は4両編成。電車の前後には「精華号」とプレートが掲げてありました。また、網干の電車基地を通過すると「精華号行ってらっしゃい」との横断幕が掲げられ、おもてなしを受けました。滋賀では、ミシガン船に乗船し琵琶湖周遊を楽しみ、ホテル紅葉にて宿泊。部屋から宴会場が遠く曲がりくねっており、迷子者が出てしまい大騒動でした。翌日は京都太秦映画村を堪能しました。今では考えられない、大集団での旅行。大変でしたが、懐かしい思い出です。

### ゆうあいピック東京大会

支援員 黒田 勝義

東京オリンピック・パラリンピック2020にちなみ今回は精神薄弱者のオリンピック、第一回目が開催された記事が平成4年12月26日発行園だよりに掲載されていましたので紹介したいと思います。平成4年11月21、22日、東京駒沢競技場で第一回目が開催され、現在、グループホームひびきに入居されている利用者様が出場される。競技の内容ですが、100m走は、極度の緊張でスタートが遅れ5位となる。2日目の200mは、ゴール手前で追い込み3位に入り、みごと銅メダルを獲得する。ゴールをした後は、応援に来られたご両親も感激のあまり涙、涙。その場にいれば、私も感激の涙を流したでしょう。

# 「赤穂精華園の未来」

～変わらないでいてほしいところ～

総務課長 梅田 秀喜

私が赤穂精華園に嘱託職員（現在でいう契約職員（I））として入職したのは、平成14年4月のことでした。今から17年ほど前のことです。

この度、精華園だよりが記念すべき第100号を迎えるということで、改めて入職当時の精華園だよりを見てみると、表紙には、交通安全キャンペーンで運転手に当園でつくった花束を渡し、満面の笑みを浮かべている利用者様の素敵な笑顔がありました。

地域との繋がりはあの頃と何も変わっていません。精華園が変わらず大切にしてきたことです。

令和3年度に精華園は創立60周年を迎えます。利用者様や職員を取り巻く環境は、時代とともに変化しています。しかしながら、これから先も精華園だよりの表紙を飾る利用者様の表情はいつまでも変わることはないでしょう。

支援員 河部絵梨果

私が生まれた頃にはインターネットが存在しており、今までSNSを通じいつでも不特定多数の人々とネットの中で繋がることができる日常を過ごしてきました。そんな中、赤穂精華園で勤務し始めて一年足らずですが、「えりちゃん園だよりに載ったね、頑張りよるんやね」「ほのか工房でいつも買いよるよ、美味しいわあ」と、笑顔で話してくださる近所の方々の表情を見て、私も心が温かくなったと同時に、地域の支え・助けがあったこそ精華園があるのだと感じました。地方の人口減少もあり、地域での横の繋がりが希薄になっていると言われていますが、精華園の一職員として、また一赤穂市民としても、地域と精華園が連携して、赤穂市を盛り上げていくことは変わらないでいてほしいです。

児童寮 利用者

園祭がずっと続いてほしいです。川で貝がとれるところ



## でつながるプロジェクトへの参加

### 児童支援課

その国の文化が感じられる絵で全世界のオリンピック・パラリンピック選手をお迎えしようというプロジェクト「アートマイル壁画展2020」の作品づくりに取り組んでいます。壁面のタイトルは「ぼくたちのHAPPY ART」ようこそトリニダードトバゴのみなさんー」です。私たちは、参加予定206国のうちアメリカ大陸のトリニダードトバゴを描くことになりました。その国の人たち



手作りの「金メダル」



枚数の少ない利用者様に譲ってあげる優しい場面も見ることが出来ました。

## ●● 栄養士より ●●

### 「栄養かるた」



1月9日に児童寮で「新春栄養かるた大会」を開催し、みんなで盛り上がりました。今回使用したかるたは、当事業団の管理栄養士・栄養士連絡会の障害者部会で、字の読めない利用者様にも楽しんでいただけるように配慮して作成した「栄養かるた」です。絵札は分かりやすいイラストを使用し、読み札には誰でも食育が出来るように食育コメントを添えました。また、大きさも見やすく取りやすいように、はがきサイズで作成しました。今後多くさんの利用者様・職員と共に楽しみながら「食の大切さ」を伝えていきたいと思えます。

# 総務課より

## 「どんど焼き」

今年1月16日に、利用者様と赤穂特別支援学校、近隣施設、地域の方々をお招きして開催しました。

園長、年男・年女の方たちによって今年の恵方である西南西から点火されると、大きな歓声に包まれながら、竹の割れる音が響き、激しい炎とともに燃え上がりました。その後には、とんどの残り火を使って餅を焼き、一年の健康を祈りながらいただきました。

とんど焼き開催にあたり、大津自治会の皆様には、竹の切り出しから組立てまで、多大なるお力添えを頂きました。このような、地域とともに開催できる行事をこれからも大切にしていきます。



## 「消火訓練を行いました」

とんど焼きの残り火を使い、職員の訓練を実施しました。消火器と消防用ホースを実際に使用した訓練です。消防用ホースは放水の際に水圧がかかり大きな反動があるため、全身を使って押さえる必要があることなど、実際に使ってみなければ分からない事が多くありました。

普段触れる機会が少ない消防用ホースを用いたの消火・放水訓練は大変貴重な経験となりました。



# アートマイル2019 世界中が壁面

「自分たちの国だ！」と分かってもらえるように、表現していきます。普段使わないアクリル絵の具で、大きなビニールテントに描くという初めての体験で不安でしたが、色を塗り始めると楽しくて、みんな思いきり筆を動かしています。カーニバルが有名な国なので、この国の魅力が伝わるように、最後までみんなで協力してダイナミックな壁画にしたいと思います。



## … 医務室より …

あなたは、何点？ストレスチェック

この1週間の生活を振り返って、8項目それぞれ、自分に当てはまる回答の点数を合計する。

〈例〉食欲が全くなかった場合は5点 非常にあった場合は1点  
体の症状が全くなかった場合は1点 非常にあった場合は5点

ストレス	全くなかった	少しあった	まあまああった	かなりあった	非常にあった
食欲	5	4	3	2	1
睡眠	5	4	3	2	1
喜び	5	4	3	2	1
疲れ	1	2	3	4	5
憂うつ	1	2	3	4	5
不安	1	2	3	4	5
緊張	1	2	3	4	5
体の症状	1	2	3	4	5
※24点以上はやや注意 32点以上はかなり注意				合計	
ストレスをためないコツ 親しい友人と交流 笑う 休憩する 落ち着ける場所を確保 趣味に打ち込む 自然に親しむ 適度な運動(*^_^*)					

## 自立に向けて練習中

### 児童支援課

児童寮には自立に向けた訓練を行うための「自活訓練室」があります。居室、お風呂、トイレ、キッチンが整備されており一人暮らしに近い環境を体験することができます。現在は高等部3年生のSさんが訓練中です。下校後の短時間の体験から始まり、この数ヶ月で掃除、洗濯、入浴と徐々に内容や時間をステップアップし、身の回りのことを自力で行うことができるように練習しています。就寝、起床も支援員の声掛けなしで定刻を守ることができ、「自分で」という意識が高まってきています。週末には食材の購入、調理にも取り組み、回を重ねる毎に上達されています。今後も支援員一同利用者様の将来に向け、一人ひとりに応じた力を伸ばすことができるようサポートしていきたいと思えます。



## 元氣いっぱい

### 成人支援第一課

一課の利用者様は元気な方がほとんど、季節ごとの行事も元気に楽しめます！

新年が明けてからも、とんどや節分と行事があり、日が近づいてくると皆さんソワソワ、ウキウキ。支援員とも「もうすぐとんどやな。あと何日?」とか「餅は何個食べれるの? (そつちですか。)」などやりとりを楽しみました。今年の節分は感染症対策の為、残念ながら一緒に豆まきはできませんでしたが、園の周りは鬼でいっぱい! 鬼同士で元気に「おにはくそと!」



## 新年会の開催

### 成人支援第二課

令和2年1月24日に、新年会を実施しました。毎年恒例の「花てまり」さんによる舞踊で盛り上げていただき、また利用者様によるカラオケ大会も行いました。皆さん手拍子などして楽しく過ごすことができました。また午後からはケーキとコーヒーを飲食し、充実した一日を送ることができました。今年も一年、皆さんが元気で楽しく過ごせることを、企画していきたいです。



## クリスマス会と初詣

成人支援第三課

やまびこ寮では、昨年12月18日にクリスマス会を開催しました。イオン赤穂店のボランティアの方々のご協力で盛大に行うことができ、利用者様も大喜びでした。昼食は「初音さんの豪華お弁当」を利用者様が楽しく、美味しく食べました。食事の後は、ビンゴゲーム等のレクリエーションを楽しむことができ、良い気分転換ができました。レクリエーションの後は、「かみや製菓さんのクリスマスケーキ」をコーヒとともに飲食しました。



1月2日には初詣に行きました。地域の大神社へ参拝した後、外食を楽しみ、イオン赤穂店で買い物しました。楽しい思い出が出来たこのことで利用者様から感想を頂きました。

### 初詣感想 利用者様

令和最初のお参りで大神社へみんなと一緒に行って良かった。ぱぴーでステーキが食べれて美味しかった。ジャスコに行つて、自分で選んだドライヤーが買って良かった。来年もいきたいわ。(原文のまま)

## 引越して

きましたあ〜!!

有年事業所

有年の国道沿いにあった「有年事業所グループホームほのか」が、令和元年12月に精華園の「やんちハウス」にやってきました。「さくらハウス」は以前、成人寮・やまびこ寮の建替えの際の借り住まいで殺風景でした。しかし現在は、厨房・食堂も完備された全室個室の女性ばかり12人のホームになりました。ドタバタしながらもワイワイガヤガヤ賑やかな新しい生活が始まりました。とてもきれいなホームで楽しく過ごしています。園の近くに引越して来たことで、出会う機会が増えると思います。皆様にホーム内をご案内することはなかなかできませんが、気軽に声をかけてください!!



お部屋

食堂



## マイカップ作り

地域支援課

放課後等デイサービスでは、様々な創作活動を行っています。今回はポーセラーツ創作でカップに好きなシールを選んで貼り、マイカップを作りました。利用者様は、好きな猫のシールだけを貼ったり、カップの中にたくさんシールを貼ったりして、個性的なカップが出来上がりました。

後日、電気炉で焼成し完成したカップが届くと、利用者様は嬉しそうに眺めており、これからも大切に使われると思われました。

\*ポーセラーツとは、真っ白な陶器に好きな色や模様の転写紙を貼って世界に一つだけのオリジナルのテーブルウェアを簡単に作る事ができるハンドクラフトです。



## 第1回関西福祉大学・赤穂精華園共同セミナー開催

令和2年2月18日火曜日、関西福祉大学にて、第1回関西福祉大学・赤穂精華園共同セミナーを開催いたしました。本年度共同プロジェクトとして実施した、「障害理解を深めるための対話実践」の報告やシンポジウム、ワークショップでの対話を行うことによって、参加者の皆さんは障害理解を深めていく貴重な機会を得られた事と思います。



## 『ほのか工房 さくらチョコドーナツ販売』

- ほのか工房より、桜の季節に合わせた新商品を発売します。  
焼きドーナツとワッフルに、ホワイトチョコをコーティングした、お花見のおやつとしてもおすすめの商品です。(1個 150円)  
ほのか工房へお立寄りの際は、是非いちどご賞味ください。  
また、赤穂産大豆を100%使用した「ほのか豆腐」の製造、販売を3月末で終了することになりました。今まで長年のご愛顧ありがとうございました。

**営業時間 朝7時30分～夕方5時30分**  
※ご予約承ります 電話番号 0791 (56) 9660



**青味大根漬物**

**おすすめ漬物**  
「第一回グルメ甲子園」  
グランプリ受賞

**やまびこ名物**  
とんぼ玉

**切り干し大根キムチ**

**各種生花**  
寄せ植え

**新鮮な**  
有機野菜

赤穂精華園やまびこ寮  
〒678-0252 赤穂市大津 1327 TEL (0791) 43-2091



## 編集後記

精華園だより第100号発行記念ということで、編集にあたり過去に発行された精華園だよりを

探したところ、現在とは随分違うものでした。新聞のように一枚物に記事が掲載されていたり、利用者・保護者・職員のコラム記事が多かったり。記事題の表現在時代も感じました。機関誌一つをとっても、赤穂精華園の長い歴史の流れを感じる事ができました。そうこう言っている間に、創立60周年がやって参ります。その折も今回のように、少し趣向の違った記事を掲載していることと思っています。

(編集委員一同)